



【朗報】こんな人におすすめ↓

- 消費者
- 農業と観光の融合を目指す人々
- 食に関わった生業の人々
- 行政・教育関係者

## これからの私たちの生き方

後援：安曇野市、信濃毎日新聞社、市民タイムス

<p>第1部 講演「日本の農業の現実」 講師：堀内壽郎</p>	<p>タイムテーブル 13:30～14:30 主催者挨拶、講演（60分）</p>
<p>パネルディスカッション 第2部 「土とともに生きる幸せ—安心安全な食べ物を」 パネリスト：浅川拓郎、増田望三郎、竹内孝功 司会：松本 猛</p>	<p>14:30～14:40 休憩（10分）</p>
<p>展示・テーブルトーク 第3部 テーブルホスト：バジルクラブ、安曇野農業経営者の会、菜園友の会、野菜のかけはし、津村孝夫・寿美、おぐらやま農場 松村暁生 他</p>	<p>14:40～15:40 パネルディスカッション（60分） 15:40～16:30 展示・テーブルトーク（50分）</p>

2012年12月16日 [日] 13:30～16:30

安曇野市三郷公民館 講堂

参加費 一般 500円（信州自遊塾会員無料）

### 申込先

「住所・氏名・連絡先・第9回講座参加」を明記の上  
下記のいずれかの方法でお申込ください

【E-mail】 [hakkai@par.odn.ne.jp](mailto:hakkai@par.odn.ne.jp)

【Fax】 0263-77-5437

【申込フォーム】 <https://jiyujuku.sakura.ne.jp/registration/>

- \* 定員250名 事前申込を  
おすすめします
- \* 当日受付可

問合せ先 【電話】 090-5808-0768（事務局：峯岸）





# 食の安全・安心を求める若い農業者とともに考えよう

信州自遊塾は、3.11東日本大震災、福島原発事故後の生き方を考えるために発足し、第1回「信州の自然エネルギー」、第2回「女優 根岸季衣と3.11後の生き方を語ろう」、第3回「信州の森を想う in 奥蓼科温泉郷」、第4回「親と子で考えよう原発」、第5回「鉢伏山自然体験」、第6回「放射能情報のウソとホント」、第7回「長峰山で森、里山を考える」、第8回「牛伏寺自然体験」と講座をかさねてきました。今回は、農業問題を取り上げます。私たちが口にする食べ物は本当に安全だろうか？日本の農業はどうなっているのか？農業の未来を開こうとがんばっている人々は何を考えているのか？食と農業と私たちの生き方に焦点をあてた講座を展開します。



## 第1部：講演「日本の農業の現実」

堀内寿郎 (ほりうち・じゅうろう)



1962年から38年間、長野県の農業関係試験場で大豆水稲等の普通作物の新品種育成、栽培試験に従事。その後、社団法人長野県植物防疫協会に6年間勤務。日本作物学会・日本雑草学会・日本育種学会会員。現在、長野市中条(旧・中条村)で大豆・小豆等を栽培。



## 第2部：パネルディスカッション「土とともに生きる幸せ—安心安全な食べ物を」

増田望三郎 (ますだ・ぼうざぶろう) 43歳 【安曇野地球宿】



安曇野市三郷小倉で農家民宿「安曇野地球宿」主宰。農的暮らしを実践しながら人が出会い心通い合わせることのできるコミュニティ宿を運営する。小さな自給農と自分の特性を発揮できる天職X(エックス)を組み合わせた「半農半X」の生き方をこれからの時代に提案する。

<http://chikyuyado.com/>

竹内孝功 (たけうち・あつり) 34歳 【自給自足Life】



19歳で福岡正信著「わら一本の革命」と出会い、東京都日野市の市民農園で自然菜園を始める。卒業後勤めた某自然食品店店長を辞し、本格的に自然農・自然農法の修行に入る。(公財)自然農法国際研究開発センターなどの研修を経て、自給自足Lifeを開業し、菜園教室「Azumino自給農スクール」など開催する。自然菜園コンサルタント。拙著に「これならできる! 自然菜園」(農文協)、「コンパニオンプランツで失敗しらずのコンテナ菜園」(家の光協会)がある。

<http://39zlife.jimdo.com/>

浅川拓郎 (あさかわ・たくろう) 30歳 【あつみのうか浅川】



1982年、安曇野市堀金の専業農家の三男として生まれる。大学卒業後2年間の研修を経て2006年に実家に就農。栽培品目は米、小麦、夏秋イチゴ、メロンなど。就農と同時に「浅川さんちのお米」という商品名でお米の精米販売を開始。そのお米はモンドセレクション金賞、ITQi 3ツ星を2年連続で受賞。農産物を通じて安曇野のすばらしさを伝えようと農業に励む。

<http://www.matsuaz.com/azunoo/>



司会

松本 猛 (まつもと・たけし)



絵本・美術評論家、作家、絵本学会会長、ちひろ美術館常任顧問。今夏、安曇野の低農薬農家を描いた絵本「りんご畑の12か月」(講談社)を出版。著書「安曇野ちひろ美術館をつかったわけ」「東山魁夷と旅するドイツ・オーストリア」など多数。

<http://www.takeshi-matsumoto.jp/>



農業風景写真提供：片桐勝郎

## 第3部：展示・テーブルトーク

- バジルクラブ (代表 鈴木達也、農業と消費者や学校を結んでいます)
- 安曇野農業経営者の会 (会長中田信一郎、登山道整備も皆でやっています)
- 菜園友の会 (地域の福祉農園)
- 野菜のかけはし (震災後、移住してきた母親達で福島や東京に安曇野の野菜を届けています)
- 津村孝夫・寿美 (地産地消をめざす夫(農業者)と妻(調理研究家))
- おぐらやま農場 松村暁生 (林禽農家)

～これからの人間の生き方を考えよう～

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>